

教育学部

●学部の教育理念と教育目的

教育学部は、学校教員を養成する2つの課程と、生涯学習社会を担う人材の育成を目指し3つの課程から成り、いずれも有為の人材の育成を通して社会に貢献することを使命としています。教員養成の課程では、豊かな人間性とすぐれた実践的指導力を兼ね備えた学校教員を養成します。そのために、学生は関係分野に関する専門的学識を修得し、子どもと多様にかかわり、そしてそれらを省察しつつ、資質能力の向上を図ります。

生涯学習社会に対応する課程では、国際理解、情報化、生活環境、共生社会のデザイン、健康・スポーツ、音楽文化、造形芸術などの領域で高い志をもって地域に寄り添い、地域の多様な生涯学習活動において中心的指導的な役割を果たし、豊かな地域文化の創出と推進に貢献できる人材を育成します。そのために、学生は、それぞれの分野の専門的学識・技量を修得し、多様な活動を通して人間関係力・実践的指導力の育成を図ります。

なお、本学部では、教員免許状のほかに、各種の資格の取得が可能です。

●学部のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、卒業時に必ず身につける能力)

<知識・理解>

1. 教育に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。

<思考・判断>

2. 教育をめぐるさまざまな現代的課題について論じ、適切な対応を考えることができる。

<技能・表現>

3. 教育活動に取り組むため、高い技能と豊かな表現力を身につけている。

<関心・意欲>

4. 自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた主体的な学習ができる。

<態度>

5. 専門的職業人としての使命感や責任感と多世代にわたる対人関係力を身につけ、社会の一員として適切な行動ができる。

●学部のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

<知識・理解・実技能力>

1. 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。

・高等学校で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

・スポーツ、音楽、造形などに関して、修学に必要な実技能力を有している。

<思考・判断>

2. 物事を多面的かつ論理的に考察することができる。

<技能・表現>

3. 自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

<関心・意欲>

4. 教育、人間、自然、文化などにかかわる諸問題に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある。

<態度>

5. 積極的に他者とかわり、対話を通して相互理解に努めようとする態度を有している。

●学部のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針、カリキュラムの特徴・特色)

地域に立脚した大学の教育学部として、豊かな人間性とすぐれた実践的指導力を兼ね備えた学校教員の養成と、豊かな地域文化の創出と推進に貢献できる人材の育成のために、次のような方針に基づいてカリキュラムを編成しています。

教員養成の課程では、関係分野の専門的学識・技能を修得するための科目と、初年次から体系的な実践・省察を重視した実習カリキュラムを用意しています。これらにより、学生は理論を学び、実践の場でその活用を試み、他者との交流を通じた省察によって真摯に自らを振り返り、さらに関心を醸成し、学びを深めていきます。

生涯学習に対応する課程では、それぞれの分野の専門的学識・技能を修得するための科目を講義のみならず演習形式で多様に用意しています。また、学生の専門的な能力を地域に発信しながら、その実践力と指導力を学び育てていきます。